

明神ヶ岳山行記録

記 鳥切



日時・天候 2017年11月29日(水) 天候:晴 明神ヶ岳山頂から富士山
山域・山名 箱根 明神ヶ岳(1169m)
メンバー 田辺浩二 大和義孝 鳥切昇治
山行記録

(往路)大船 6:53—7:35 小田原 7:48—8:09 大雄山 8:14—(バス)—8:24 道了尊
《コースタイム》道了尊 8:30—9:47 見晴小屋 9:55—10:23 神明水 10:27—稜線分岐

12:00—12:03 明神ヶ岳 12:40—13:20 宮城野分岐 13:25—14:50 宮城野バス停
(復路)宮城野バス停 14:57—(バス)—15:50 小田原駅 16:12—16:53 大船

80才のお二人と山行を共にするのは5月の西穂以来である。6時台の東海道線下りは本数が少なく、大船駅6時53分発の電車は混雑していた。田辺さんと大船で、大和さんと小田原の大雄山線改札口で合流した。大雄山駅前から道了尊までバスを利用する。道了尊バス停のみやげもの店は閉まっていた静かである。登山者も我々だけだった。



道了尊最乗寺入口のバス停で

晴小屋に到着した。二人は久々の登山で汗をビッシヨリかいている。後から来た登山者が追い抜いて行く。杉・桧林から草原の道になる。萱が道を覆い歩き難い。刈っておいてくれると歩き易いのにと思いながら歩く。30分程で神明水に着いた。神明水は塩ビのパイプから一筋の糸のように落ちていて、マグカップに汲むのに時間がかかった。神明水から雑木林の急な道を登り、草原の道を歩く。道は左の方に巻くようになり、沢筋に明神水があった。此方は水量が多少多かった。明星ヶ岳方面への分岐を左に分け、右の急坂を登ると視界が開け稜線に出た。



箱根の神山と大涌谷の噴気

道了尊最乗寺入口左手の参道の急坂を登る。鬱蒼とした杉・桧林の道を登る。所々に赤く塗ったドラム缶の防火用水が置いてある。珍しい光景だ。林道を2回横切り、見



見晴小屋で一休み



神明水をマグカップに汲む



箱根の外輪山、愛鷹山と富士山



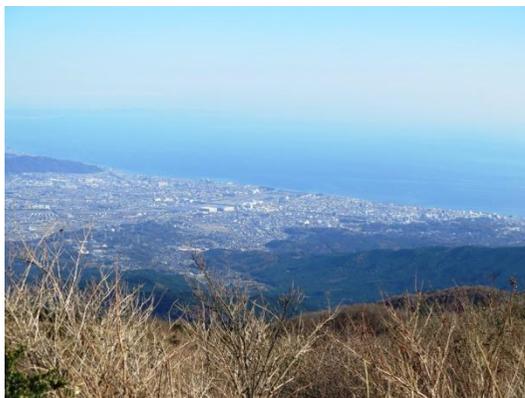
手前の金時山越しに富士山



明神ヶ岳山頂

風も穏やかで、箱根の眺めが逆光に光って見え、大涌谷の噴気が広がっている。右に少し登ると明神ヶ岳山頂だった。箱根、箱根の外輪山、愛鷹山、富士山がすばらしい眺めである。丹沢は藪が邪魔して見えないが、小田原市街、相模湾も一望出来る。

*** 山頂に『明神ヶ岳は古期外輪山の一つで、南足柄からこの山を越え、宮城野の碓氷峠に下る道は日本武尊東征の道と伝えられている』と書かれていた。**



小田原市街と相模湾を一望



明神ヶ岳山頂で

ゆっくり景色を眺めながら昼食をとり、記念写真を撮ってから明神ヶ岳を後にする。稜線歩きは快適で、両脇の笹藪が刈ってあり歩き易い。箱根町は良く整備してくれている。急坂を下ると宮城野へ下る分岐だった。一休みしてから明星ヶ岳方面には行かずに宮城野に下る。

下るにつれ雑木林の紅葉が太陽の光に



宮城野へ下る分岐



宮城野へ下る



紅葉が太陽の光に照らされてきれい



宮城野まで下って来た



宮城野バス停も近い

照らされてきれいに見える。別荘と思われる建物の脇の道を下って行くと舗装道路に出て、標識に従って更に下ると信号機がある道路に出た。右に宮城野バス停があった。怪我も無く無事に下山出来て良かった。

着いて間もなく小田原駅行きのバスが来て乗り込む。何時ものことながら湯本まで断続的に渋滞が続いたが1時間弱で小田原駅に着いた。大船駅に電車が到着する前の車内で「お疲れ様」と解散した。

以上